



E



監督： マルコ・トゥルコ

制作： クラウディア・モーリ

PRESENTANO

イタリア映画

C'era una volta la città dei matti

むかし Matto の町があった

日時： 2015年10月1日（木） 15:00-18:20

2015年10月2日（金） 15:00-18:20

場所： 桃山学院大学 2号館301教室

自主上映会のご案内

この映画は、イタリア精神保健改革の最初の約20年を描いています。

イタリア国営放送RAIと映画会社Ciao Ragazzi! が制作し、2010年2月に放映された、この約200分の大作は、その直後から世界中で、そしてこの日本全国各地でも、自主上映運動が展開され続けています。

Mattoとは「狂気を持つ人」の意味で、「Mattoの町」とは精神病院のことです。

人生とは？ 医療とは？ 社会とは？ 多様性とは？ 共生とは？ —— 精神病院の廃止を成し遂げたイタリアで繰り広げられた、人々の真摯な生への問いと格闘を、力強く描いている、この素晴らしい映画・・・

ぜひ、この機会に、桃山学院大学社会学部社会福祉学科の自主上映会（入場・鑑賞は無料）でご鑑賞ください。

【主催】 桃山学院大学社会学部社会福祉学科 齋藤ゼミ、バザーリア映画を上映する180人のMattoの会

【後援】 イタリア大使館、和泉市、和泉市教育委員会

【協力】 RAI フィクション、フランカ&フランコ・バザーリア記念財団、トリエステ精神保健局

【予約】 ●お名前 ●ご希望日（木曜か金曜）を matto.2015.10@gmail.com までお知らせください。

【費用】 学生： 無料

一般： 資料代 1000円

* 一般の方にも、ご鑑賞いただけます。

* 当日、空席があれば、

ご予約なしでも、ご鑑賞いただけます。



上映責任者： 齋藤かおる（社会福祉学科准教授）